

JAの自己改革に関する組合員アンケート

集計結果のご報告

JAグループは、『農業生産の拡大』『農業所得の増大』『地域の活性化』の3つの基本目標を掲げ、地域農業の振興や地域づくりに向けた自己改革に取り組んでいます。

JAグループでは、JAが現在取り組んでいる自己改革に対する評価をお伺いするため、昨年10月から今年3月にかけて、役職員が組合員宅を訪問し、アンケートを実施しました。その結果6,161名の組合員からご回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

回収いたしましたアンケートの集計結果がまとまりましたので組合員の皆様にご報告いたします。

令和元年 8月

あなたご自身について

(1) 組合員属性

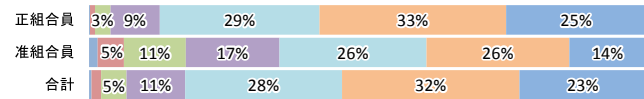
正組合員	准組合員	無回答	合計
4,644	1,246	4	5,894



(2) 年代

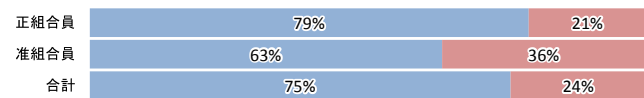
	29歳以下	30歳代	40歳代	50歳代	合計
正組合員	8	41	130	410	
准組合員	19	59	138	209	
合計	27	100	268	619	

	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	合計
正組合員	1,328	1,552	1,167	8	4,644
准組合員	328	319	171	3	1,246
合計	1,656	1,871	1,338	11	5,890



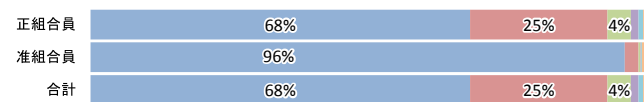
(3) 性別

	男	女	無回答	合計
正組合員	3,655	978	11	4,644
准組合員	787	454	5	1,246
合計	4,442	1,432	16	5,890



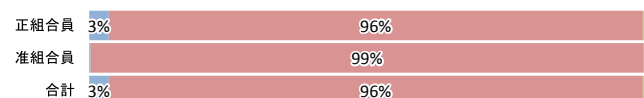
(4) 農畜産物販売金額（過去1年間・税込）

	なし	100万円未満	100~300万円	300~1000万円	1000万円以上	無回答	合計
正組合員	3,172	1,149	195	63	39	26	4,644
准組合員	1,198	31	4	1	2	10	1,246
合計	4,370	1,180	199	64	41	36	5,890



(5) 認定農業者

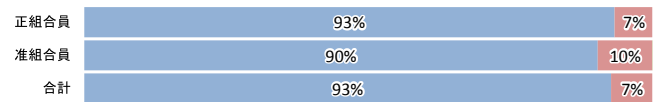
	認定農業者である	認定農業者でない	無回答	合計
正組合員	162	4,438	44	4,644
准組合員	3	1,233	10	1,246
合計	165	5,671	54	5,890



問1【JAの総合事業】

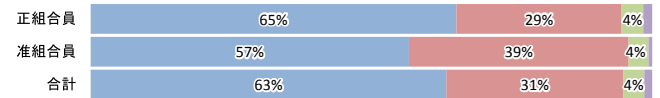
A. 利用したことがありますか？

	ある	ない	合計
正組合員	4,318	318	4,636
准組合員	1,123	120	1,243
合計	5,441	438	5,879



B. JAは地域農業や暮らしに必要な存在だとお感じになりますか？

	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	合計
正組合員	3,008	1,358	178	73	4,617
准組合員	701	484	44	8	1,237
合計	3,709	1,842	222	81	5,854



C. JAの総合事業について、どのようにお考えになりますか？

	総合事業を継続すべき	どちらかといえば継続すべき	どちらかといえば特化すべき	農業関連事業に特化すべき	合計
正組合員	2,893	1,351	230	115	4,589
准組合員	678	463	60	29	1,230
合計	3,571	1,814	290	144	5,819



問2【1. 営農指導事業】

問2については、正組合員のみに向っています

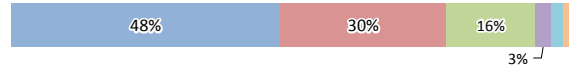
A. 利用状況（過去1年間）

利用あり	利用なし	合計
1,768	2,865	4,633



B. 期待度

期待している	やや期待している	どちらかといえば期待している	どちらかといえば期待していない	あまり期待していない	期待していない	合計
849	524	280	50	38	16	1,757



C. 満足度

満足	やや満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	やや不満	不満	合計
429	696	421	124	61	27	1,758



D. 3年前と比べて事業内容がどう変わりましたか？

もともと良い	改善した	改善しつつある	悪化しつつある	悪化した	もともと良くない	合計
368	331	772	202	41	35	1,749



問2【2. 農畜産物販売事業】

問2については、正組員のみに伺っています

A. 利用状況（過去1年間）

利用あり	利用なし	合計
1,475	3,155	4,630



B. 期待度

期待している	やや期待している	どちらかといえば期待している	どちらかといえば期待していない	あまり期待していない	期待していない	合計
658	413	295	58	29	16	1,469



C. 満足度

満足	やや満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満足	やや不満足	不満	合計
334	533	388	136	52	23	1,466



D. 3年前と比べて事業内容がどうか変わりましたか？

もともと良い	改善した	改善しつつある	悪化しつつある	悪化した	もともと良くない	合計
287	293	643	168	34	23	1,448



問2【3. 生産資材購買事業】

問2については、正組員のみに伺っています

A. 利用状況（過去1年間）

利用あり	利用なし	合計
3,002	1,630	4,632



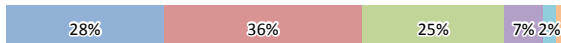
B. 期待度

期待している	やや期待している	どちらかといえば期待している	どちらかといえば期待していない	あまり期待していない	期待していない	合計
1,275	868	664	95	49	31	2,982



C. 満足度

満足	やや満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満足	やや不満足	不満	合計
840	1,061	757	208	68	47	2,981



D. 3年前と比べて事業内容がどうか変わりましたか？

もともと良い	改善した	改善しつつある	悪化しつつある	悪化した	もともと良くない	合計
750	541	1,244	301	59	62	2,957



問3【自己改革の認知度】

	総代会などで知った	パンフレットなどで知った	イベントなどで知った	J A職員から聞いた	その他の方法で知った	知らなかった	合計
正組員	617	1,831	207	1,260	381	1,242	4,628
准組員	20	450	55	481	114	326	1,237
合計	637	2,281	262	1,741	495	1,568	5,865

	13%	40%	4%	27%	8%	27%
正組員						
准組員		39%	5%	44%	9%	20%
合計	11%	39%	4%	30%	8%	27%

問4【准組員制度】

A. J Aの地域農業の振興や地域づくり活動を応援したいと思いませんか？

准組員のみに伺っています

	応援したい	どちらかといえば応援したい	どちらかといえば応援したくない	応援したくない	合計
准組員	750	434	31	9	1,224



B. 准組員のJ A事業利用は正組員にとっても必要だと思いませんか？

正組員のみに伺っています

	必要	どちらかといえば必要	どちらかといえば不要	不要	合計
正組員	2,898	1,480	141	93	4,612



C. 准組員のJ A利用は正組員が利用する農業関連事業の改善を阻害していると思いませんか？

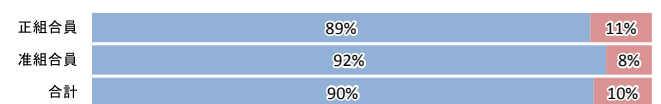
正組員のみに伺っています

	阻害していない	どちらかといえば阻害していない	どちらかといえば阻害している	阻害している	合計
正組員	3,222	1,242	102	41	4,607



D. 准組員のJ A事業の利用が制限されることについてどうお考えですか？

	制限しない方がよい	制限した方がよい	合計
正組員	4,102	506	4,608
准組員	1,139	101	1,240
合計	5,241	607	5,848



J Aにおおぞらでは、アンケートの結果や訪問の際に伺ったご意見・ご要望をJ Aの経営に反映し、より一層、組合員のみなさまの期待に応え、魅力ある地域の農業や暮らしを支えるJ Aとなれるよう、自己改革に取り組んでまいりますので、今後ともご支援・ご協力をお願いいたします。

人・夢・ふれあい 能登半島
おおぞら農業協同組合



組合員からのご意見・ご要望

事業	内 容	所 管 部 署 回 答
販 売	● テレビでひゃくまん穀の宣伝をしているが、能登米は認知度が低いのではないかと。	毎年、メディアやバス路線広告など県外ストアでの出張販売を行い販路拡大に努めています。認知度は年々高くなってきていると思われます。
	● 米を全農を通さず販売したらどうか。	全農へ委託する米ばかりではなく、農協で直売として取扱う米もあります。
	● もっと販路を拡大してほしい、私たちは、一生懸命生産をがんばります。	米の販売強化を図り、農家に還元できるよう努力します。
	● 米の価格に少し不満がある。	
指 導	● 営農指導（TAC）の訪問が少ない。 ・ 営農指導のできる職員をTACにしてほしい。 ・ 回数を多くして営農指導をしていただきたい。 ・ 特定作物に偏っている。 ・ ハウス栽培や果樹栽培の指導もしてほしい。 ・ 豆類の営農指導もしてほしい。 ・ 種芋の切り方、ブロッコリー出荷の出し方	巡回体制を強化し営農指導・知識の習得に努め、組合員への要望や質問に答えられるよう努めます。 水稲指導は勿論、果樹・園芸・穀類についても知識習得に努め営農指導に努めます。
	● 小規模農家、高齢農家が多いのでJAが一体となって農業指導を進めていただきたい。	大口農家・小さな農家も我々JAにとって大切な農家組合員です。支店営農経済及びTACによる営農指導・知識の習得に努め、組合員への要望や質問に答えられるよう努めます。
	● 平日は仕事なので青田検討会に参加できない、何かお知らせはないか。	最寄の支店営農経済課及び本店営農部へ問い合わせ頂ければ、研修会資料や連絡事項等をご案内致します。
	● 青田検討会について1回目を充実したものにしたい、あとはその都度情報を流してほしい。	青田検討会についてはどれも必要であり、今後も充実した内容にしていきたいです。
	● イノシシ対策を行政とともに考えてほしい。	市町とJAで鳥獣被害対策として、わな猟免許取得助成・捕獲檻の貸出・イノシシ捕獲奨励・イノシシ用捕獲檻購入助成・電気柵設置の支援対策を行っております。
	● 産地づくり・特産品づくりを進めて農業の魅力づくりを進めてほしい。	JAおおぞらでは3品目（馬鈴薯・ミニトマト・南瓜）を園芸の重点品目と位置づけ、生産拡大に取り組んでいます。
	● 離農した場合に水田が荒廃しないよう、農地を委託できる耕作者を見つけてほしい。（JAが受け皿となって欲しい）	農地利用円滑化事業があり市町及びJAで受け皿となり利用権設定を行っています。他に農地中間管理機構を利用することもできます。
	● 災害時の補助や支援をもっとしてほしい。	現在雪害や風害で破損したハウスビニールを新しく購入する際の助成があります。
	● 聞きたいことがあればすぐに聞ける窓口や回ってきてくれる人がいたらよい。	繁忙期では支店営農経済課が手薄になりがちですが、組合員からの質問などについて各担当者へ繋ぎ迅速な対応を行っています。
	● 農業後継者の高齢化に伴い、水稲以外の品目で土地の活用方法を検討してほしい。	農地の活用方法については、以前より南瓜を推進しています。
	● JAは農家に必要、利用したい。	今後も支店営農経済及びTACによる営農指導・知識の習得に努め、組合員への要望や質問に答えられるよう努めます。
	● JAは生産者あつての組合であるよう心掛けてほしい。	農協の自己改革を推進しているところであり、あわせて職員の自己改革を図っているところです。
	● 営農関係で事務ミスや指導不足が多いので改善してほしい。	営農指導及び知識の習得に努め営農指導強化を図ります。
● 行政と連携して鴨川RCに色選を導入してほしい。	2019年度 色彩選別機の導入を計画しています。	
加 工	● ブルーベリーの加工品を作らないのか。	現在、ブルーベリーの加工は考えておらず、買い取りは難しい。JA女性組織にてブルーベリージャム等を作り、農林漁業祭り等の出店販売を行っています。
直 売 所	● 輪島に直売所ができてよかった。	安全安心・新鮮野菜などは勿論、お客様の要望に沿うよう店舗展開を致します。
	● おおぞら村での出荷までの登録を早くしてほしい。	栽培管理表の提出から出荷までの間に、使用した肥料農薬の登録状況を審査確認し出荷登録を行っています。迅速な対応を心がけますが若干の時間を頂きたいです。
	● おおぞら村のポイントが店ごとにたまるので不便。一緒にならないか。	両店のポイント合算にはシステムの入替が必要なため、今後引き続き検討します。

事業	内 容	所管部署回答
生産資材	● 肥料・農薬の価格を安くしてほしい。	各農協ごとに価格は違いますが、おおぞらでは予約注文書を年2回発行し、2段階での価格対応を行っており、より安く供給できるよう更なる努力をいたします。
	● おおぞらと内浦の肥料・農薬の値段が違うのはなぜか。	価格対応を図るため、年2回の注文書を発行しています。特に年内予約は水稲用です。
	● 水稲肥料は年内と春の2回予約注文があるが1回でいいのではないか。	予約注文書でもジャックシリーズは10kg単位であり、おおぞら村店舗には500gから2kg程度の家庭園芸用のものもあります。
	● 農薬や種など小さな量で売ってほしい。	種子の品質及び品種相違を防ぐためです。
	● 種もみに袋がついてくるが、たまってくるので不要である。	部会用資材の供給については、品目の特性を勘案しながら今後検討してまいります。
	● 園芸部会用の肥料・農薬・資材の予約注文の決済日をもう少し遅くできないか。	送迎バスは、現行路線を維持してまいります。路線以外の地域については、移動スーパーなどの新たな事業を含め、地域に貢献できる取り組みを検討します。
Aコープ	● Aコープの送迎バスの路線を増やしてほしい。 ● 他JAでは移動スーパーをやっているが、そういうのもいいと思う。	送迎バスは、現行路線を維持してまいります。路線以外の地域については、移動スーパーなどの新たな事業を含め、地域に貢献できる取り組みを検討します。
給油所	● 支店の統合により、ガソリンを入れるのに穴水まで行かないといけな。	支店統廃合後、甲支店では11月の農閑期において火曜日の週1回営業しており、ご利用をお願いします。ご不便をおかけしておりますが、よろしくをお願いします。
	● ガソリン・灯油代が高いので安くしてほしい。	Aコープ、おおぞら村買い物による割引、年金受給者割引、営農燃油対応を行っています。
農 機	● 農機の対応が悪かった。修理に出して後日連絡するといわれたが、連絡がなかった。	職員教育を徹底し、接客対応の質の向上に努めます。
自 工	● 自工職員の対応が悪い（土日は休みだといわれ対応してくれなかった）車購入後のアフターがない。	
葬 祭	● 葬儀にかかる代金を組合員なら半額にすべきだ。2万円は少ない。赤字でもいいじゃないか。	やすらぎ会員特典は30,000円割引なので、組合員なら合計50,000円割引となります。
全 般	● 甲取次店舗のポストの利用法が分りづらい。	広報等で再度周知を図ります。
	● 支店がなくなって都合が悪い。	農繁期には週2日（午前中）の取次対応を実施し、現金御用の場合は、毎日渉外担当が出向く体制を整えておりますので、ご理解をお願いします。
	● 全農はいらないのではないか。	今後、JAの合併が実現すれば、全農のあり方自体も変革されることが想定されます。
	● 正・准で利用に差をつける。または組合員特典をつける。	正組合員・准組合員で差をつけるのは難しいです。組合員の皆様には、葬祭事業などで会館利用料の割引を行っております。
	● 職員が少なすぎる。	職員を募集しておりますが、応募が無い状態が続いており、職員の募集を継続してまいります。
	● もっと農業を幅広い分野で勉強してほしい。	職員には農業関係の知識の習得に努めさせます。
	● 窓口で地元の職員が2、3人いると良い。	実際のところ、門前出身の職員が少なく、全体の人員配置もあり難しい。
	● 信用・共済に人が多い。農家のためにも営農指導員を増やしてほしい。	全体として慢性的な人手不足は否めませんが、4月の異動により3月末時点からTACは1名増（4名）、また能都支店・柳田支店においては、その機能を高めるため柳田支店に営農経済部門の職員を集中配置し、機動力を確保しつつ負託に応えます。
	● 農業共済組合と合併した方がよい。農済は被害調査を主体であり、JAが農業指導を行っており、相関があるため。	農協と農済は別組織であり、石川県下では先般3JA構想が発表されたところで、その方向に向かって進もうとしているところです。
	● JAより県・市の議員として参政し、農業者に不利な行政を監視・指導して農業者を守ってもらいたい。がんばってもらいたい。	農業者にとって有利な行政を行っていただくよう県・市町にお願いしてまいります。
	● 自分たちは、JAを頼りにしている。	組合員・利用者の満足度向上に努めます。